

2020年3月期 通期決算説明資料

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

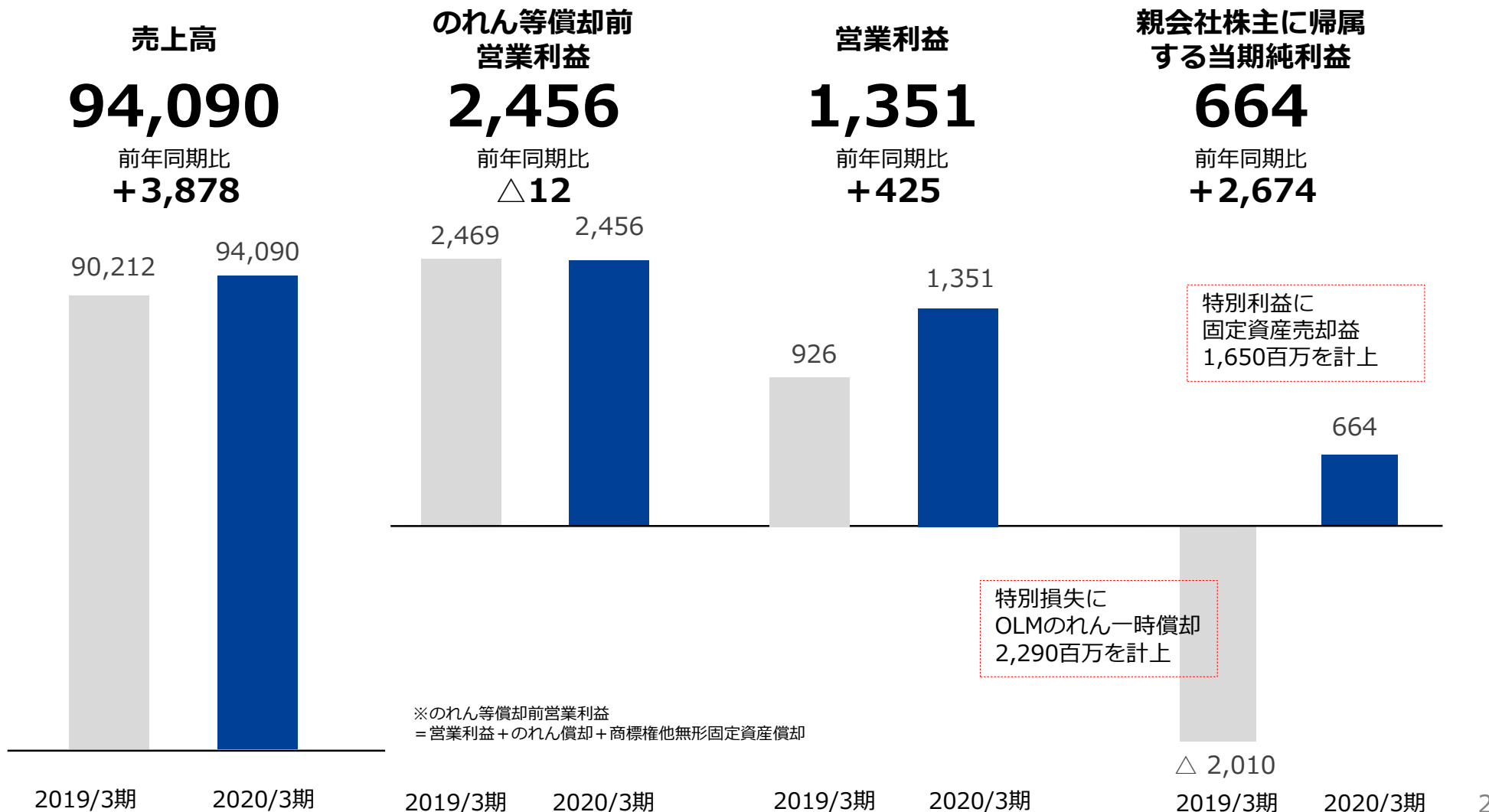
2020年6月12日



通期連結決算ハイライト

売上高38億増収、営業利益4億増益

(単位：百万円)



メディア・ローライゼーション事業 増益、映像システム事業 増収増益

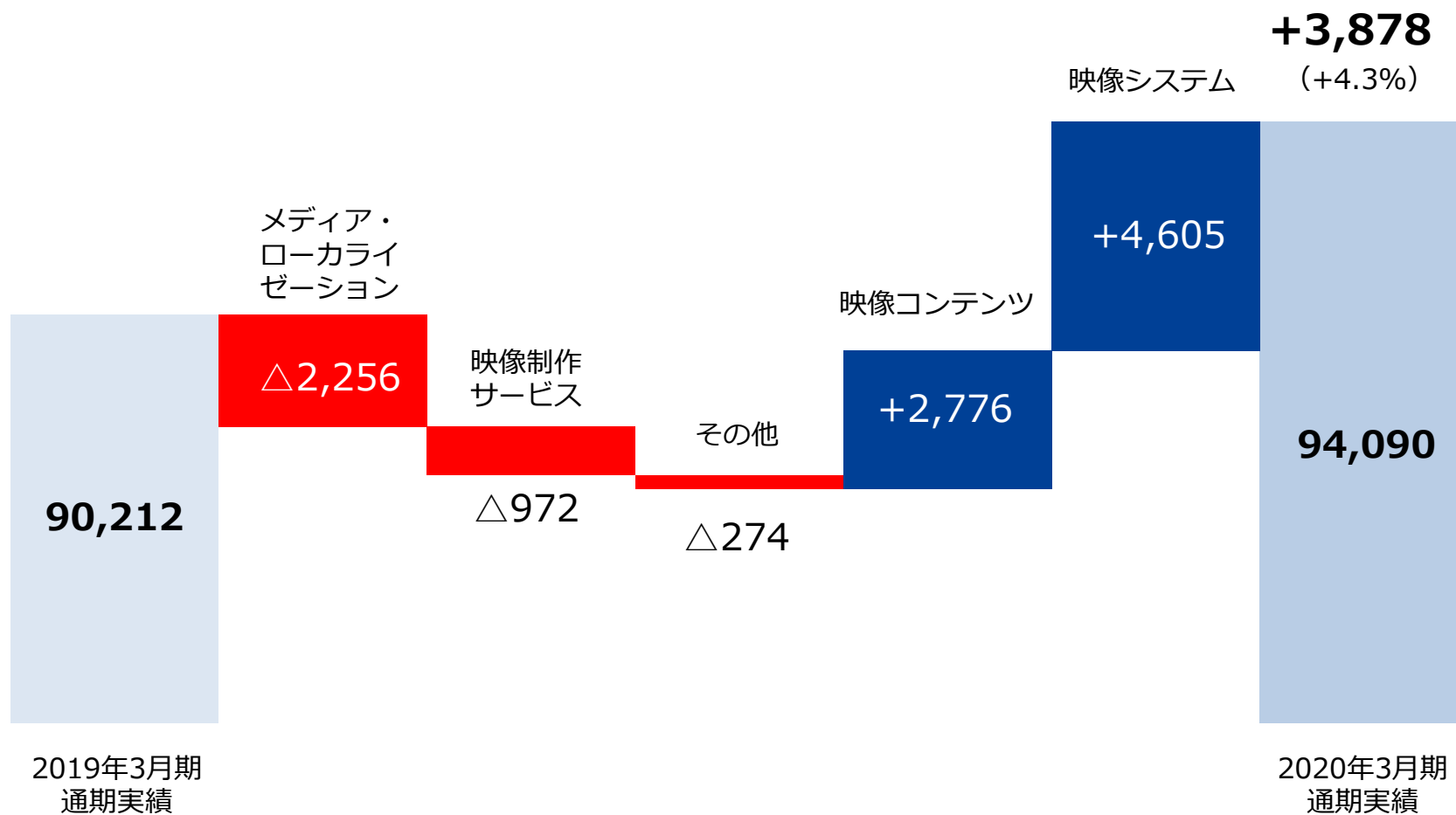
(単位：百万円)

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	23,429	26,205	2,776	11.8%
	営業利益	43	△ 359	△ 402	—
	(営業利益率)	0.2%	—		
映像制作サービス事業	売上高	27,529	26,557	△ 972	△3.5%
	営業利益	677	431	△ 245	△36.3%
	(営業利益率)	2.5%	1.6%		
メディア・ローライゼーション事業	売上高	24,916	22,660	△ 2,256	△9.1%
	営業利益	△ 1,257	△ 768	489	—
	(営業利益率)	—	—		
映像システム事業	のれん等償却前営業利益	△ 77	300	378	—
	売上高	15,946	20,551	4,605	28.9%
	営業利益	1,896	2,714	817	43.1%
(営業利益率)	11.9%	13.2%			
その他 (連結調整)	売上高	△ 1,609	△ 1,884	△ 274	—
	営業利益	△ 433	△ 666	△ 232	—
連結合計	売上高	90,212	94,090	3,878	4.3%
	営業利益	926	1,351	425	45.9%

売上高 前年比増減要因

映像コンテンツ事業、映像システム事業が増収。全体では前年比4.3%の増収。

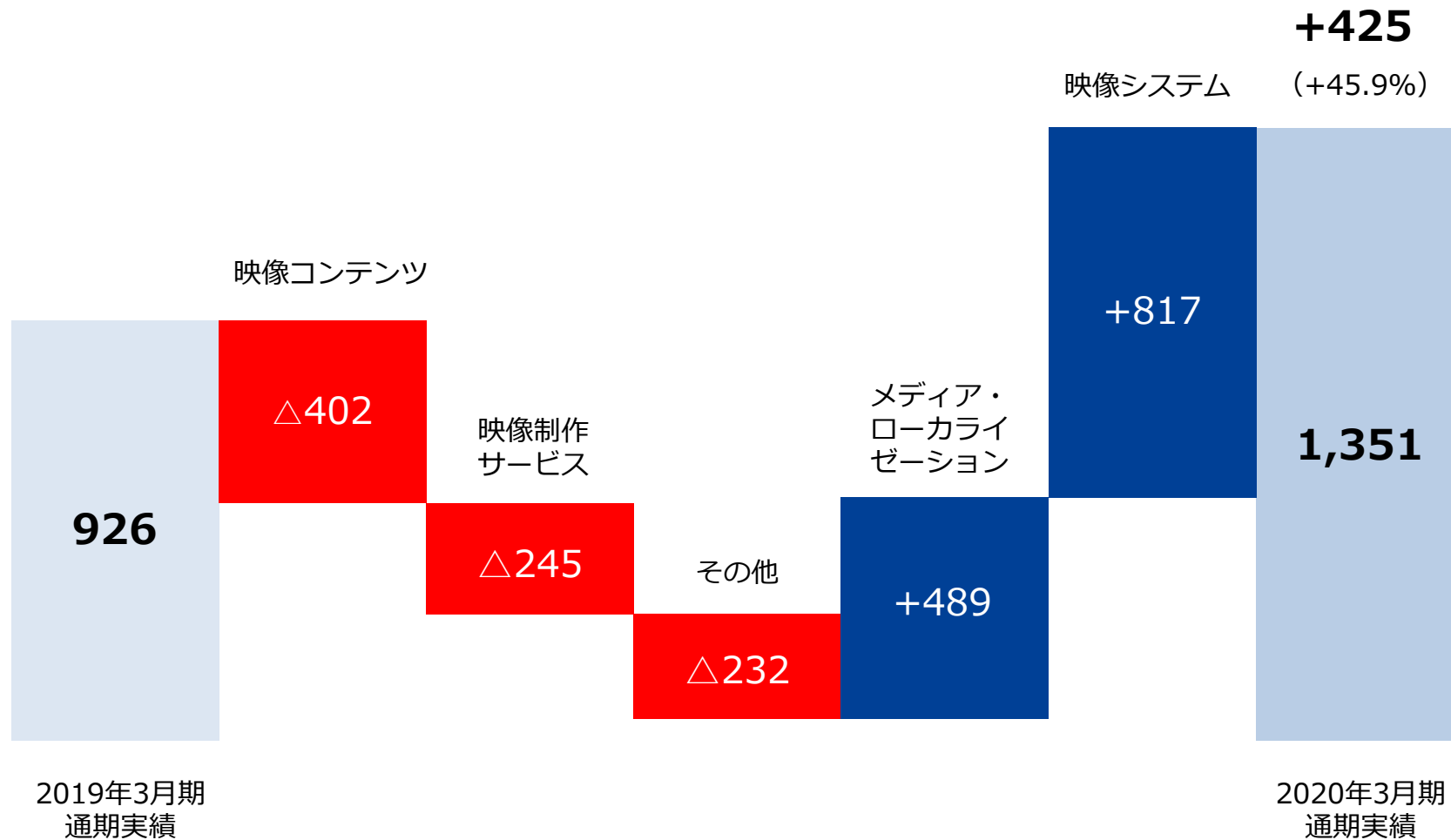
(単位：百万円)



営業利益 前年比増減要因

映像システム事業、メディア・ローカライゼーション事業の2セグメントで増益

(単位：百万円)



劇場映画作品の規模拡大と作品数増加、CM・音楽ライブ収録等により増収

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	23,429	26,205	2,776	11.8%
	営業利益	43	△ 359	△ 402	—
	(営業利益率)	0.2%	—		

売上高 前年比 **+27.7**億円

- ✓ 劇場映画（実写・アニメ）作品制作
規模拡大、作品数増
- ✓ CM制作、音楽ライブ収録 順調（大型案件受注）

営業利益 前年比 **▲4.0**億円

- ✓ 劇場作品等の製作委員会への出資に
対する評価損等により、営業損失を計上

E2Eサービス*分野順調も、人材サービス分野は減収減益

(単位：百万円)		2019年3月期		2020年3月期	
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像制作サービス事業	売上高	27,529	26,557	△ 972	△3.5%
	営業利益	677	431	△ 245	△36.3%
	(営業利益率)	2.5%	1.6%		

売上高 前年比 ▲9.7億円

- ✓ E2Eサービス*分野、映画・アニメ向け
ポストプロダクションサービス堅調
- ✓ 4Qコロナ影響により撮影・アーカイブ
サービスの受注減少
- ✓ 人材サービス分野は、連結子会社1社
売却等により減収

営業利益 前年比 ▲2.4億円

- ✓ ポストプロダクションは原価コントロールが
貢献し、利益改善
- ✓ 人材サービス分野にて、投資により販管
費増

※E2Eサービス：劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般のこと。主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューションを統合したサービス。

固定費削減策により営業利益が改善

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
メディア・ローカライゼーション事業	売上高	24,916	22,660	△ 2,256	△9.1%
	営業利益	△ 1,257	△ 768	489	—
	(営業利益率)	—	—		
	のれん等償却前営業利益	△ 77	300	378	—

売上高 前年比 ▲22.5億円

- ✓ 連結子会社2社売却による減収
- ✓ TV番組向けの受注（欧州）が低調

SDI Media Group, Inc.とその子会社の決算日が12月31日であるため、当連結会計年度には2019年1月1日～2019年12月31日の実績を反映。

営業利益 前年比 +4.8億円

- ✓ 制作体制見直しによる固定費削減
- ✓ 粗利率の高い制作案件（劇場映画トレーラー制作・ローカライズ等）受注

映像システムとイメージング（ハイスピードカメラ）の両分野で増収増益

(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像システム事業	売上高	15,946	20,551	4,605	28.9%
	営業利益	1,896	2,714	817	43.1%
	(営業利益率)	11.9%	13.2%		

売上高 前年比 **+46.0**億円

- ✓ 映像システム分野納品順調
- ✓ ハイスピードカメラ新製品の販売が 欧米を中心に好調
- ✓ CMオンライン送稿数が順調に増加

営業利益 前年比 **+8.1**億円

- ✓ 高利益率の大型案件をはじめとした受注増により粗利益が大幅増加

**新型コロナウイルス感染症の拡大により、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であることから、
2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。
今後、合理的な業績予想の算定が可能になった時点で公表いたします。**

Appendix.

連結損益計算書

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期		
	通期実績	通期実績	前年増減額	前年増減比
売上高	90,212	94,090	3,878	4.3%
売上総利益 (売上総利益率)	23,617 26.2%	23,769 25.3%	151	0.6%
営業利益 (営業利益率)	926 1.0%	1,351 1.4%	425	45.9%
経常利益 (経常利益率)	789 0.9%	416 0.4%	△ 372	△47.2%
特別利益	391	1,688	1,297	331.5%
特別損失	2,876	358	△ 2,517	△87.5%
税金等調整前当期純利益又は純損失	△ 1,695	1,746	3,442	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	△ 2,010	664	2,674	—
(参考)のれん等償却前営業利益	2,469	2,456	△ 12	△0.5%

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2019年3月期末	2020年3月期末	前期比	主な増減要因	
資産の部	流動資産	40,119	35,295	△ 4,824	現預金+1,260 受取手形及び売掛金△2,434	
	うち現預金	6,079	7,339	1,260	たな卸資産△1,618 その他△2,039	
	固定資産	24,606	26,859	2,253	土地△1,238 のれん△601	
	うちのれん	3,769	3,167	△ 601	投資有価証券△484 関連会社株式+2,384 繰延税金資産+445	
資産合計		64,725	62,154	△ 2,570		
負債・純資産の部	流動負債	26,712	25,762	△ 950	未払法人税+857 支払手形&買掛金△596	
	うち短期借入金	5,375	5,004	△ 370	短期借入金△370 前受金△796 未払金△660	
	固定負債	10,115	8,913	△ 1,201	長期借入金△658 繰延税金負債△210	
	うち長期借入金	6,169	5,510	△ 658	長期未払金△142	
	負債合計		36,828	34,676	△ 2,151	
	株主資本		24,857	25,428	570	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額		292	△ 361	△ 653	2019年3月期末 25,150 (38.9%)
	新株予約権		—	11	11	2020年3月期末 25,066 (40.3%)
	非支配株主持分		2,747	2,400	△ 347	
	純資産合計		27,897	27,478	△ 418	
負債純資産合計		64,725	62,154	△ 2,570		
ネット資金		△ 5,465	△ 3,175	2,290	(現預金－長短期借入金)	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2019年3月期 4Q	2020年3月期 4Q
税金等調整前当期純利益	△ 1,695	1,746
減価償却費	2,887	2,777
のれん償却費	3,220	576
売上債権の増減額	△ 976	2,248
たな卸資産の増減額	△ 3,399	1,528
仕入債務の増減額	949	△ 480
前受金の増減額	2,474	△ 482
未払又は未収消費税等の増減額	△ 879	1,115
法人税等の支払額	△ 1,197	△ 1,337
その他	△ 1,266	△ 719
営業活動によるキャッシュ・フロー	117	6,974
短期貸付けによる支出	△ 609	△ 15
短期貸付金の回収による収入	-	583
長期貸付けによる支出	-	△ 1,791
有形固定資産の取得による支出	△ 1,177	△ 1,468
有形固定資産の売却による収入	309	2,674
関係会社株式の取得による支出	△ 147	△ 2,975
その他	204	△ 1,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,420	△ 4,297
短期借入金の純増減額	471	245
長期借入金の返済による支出	△ 2,490	△ 2,473
長期借入れによる収入	-	1,090
自己株式の取得による支出	△ 512	-
配当金の支払額	△ 445	△ 220
その他	△ 783	66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,760	△ 1,291
現金および現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 5,064	1,260
現金および現金同等物の期末残高	6,067	7,327

2020年1月-3月 主なグループTOPICS

2020/01
イマジカデジタルスケープ

新潟に初進出
デバッグ事業拡大で新拠点開設を
決定

IMAGICA
DIGITALSCAPE

2020/02
フォトロン

ものづくりの“データ断絶”を解消！
「日本の“ものづくり”支援ツール」
3D CADソフトウェア「図脳CAD
3D V2」新発売



2020/02
IMAGICA SDI Studio

IMAGICA Lab. と SDI Media
Group 日本国内におけるダビン
グスタジオとして、株式会社
IMAGICA SDI Studioを設立

IMAGICA SDI
Studio

2020/02
イマジカデジタルスケープ

Infinite Pixel Viewer 発売開始
超高精細な画像をリアルタイムに
拡大して見られるインタラクティ
ブなビューア。美術館・博物館・
医療・教育利用に期待



2020/03
フォトロン

外国人労働者の作業理解をサポートする 動画編集アプリ「Photron-
Mobile Video Creator」 翻訳機能
搭載モデルを発売



2020/03
イマジカデジタルスケープ

2021年3月卒業予定の学生向け
「オンライン会社説明会」を
クリ博ナビにて開始

IMAGICA
DIGITALSCAPE

2020/03
IMAGICA GROUP

IMAGICA GROUPが「NTTドコモ
新体感ライブCONNECTスペシャ
ルイベント」高臨場感ライブ
ビューイングに参画

IMAGICA
GROUP
VISIONS
SUPER LIVE VIEWING

2020
公開劇場映画 制作実績

『花と雨』 1/17～
『初恋』 2/28～

2019年10月-12月 主なグループTOPICS

2019/10
イマジカ・ライブ

AIスポーツ映像技術のグローバルリーダーであるWSC Sports、Jリーグメディアプロモーション(JMP)と共に日本サッカーの革新的映像コンテンツ配信に着手



2019/11
ROBOT

ROBOT×松竹×ぴあ によるキャラクターコンテンツ『ももまち』岡山県とのコラボアニメーション公開



2019/11
ROBOT

ROBOT 企画・制作の体験型エンタテインメント、11月1日～2020年1月13日公開
「さかなクンと秘密のラボ in サンシャイン水族館」



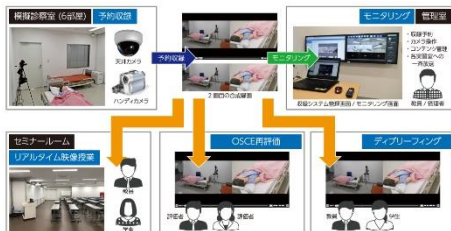
2019/11
IMAGICA Lab.

国内初「Dolby Cinema™ (ドルビーシネマ)」に対応したカラーグレーディング、デジタルシネマパッケージ(DCP)マスタリング、映写サービスを開始



2019/11
フォトロン M&Eソリューションズ

ネットワークカメラ収録システム「Spider Rec」を東邦大学に納入



2019/11
IMAGICA Lab./フォトロン

「Inter BEE 2019 (国際放送機器展)」に出展。次世代の映像制作フローの核となるクラウド技術を活用した最新サービスを提案



2019/11
IMAGICA Lab.

IMAGICA Lab. 22.2ch対応のMA室を携えた新拠点渋谷公園通りスタジオNEXTをオープン



2019/12
グループ内3社

ウェザーマップ、オー・エル・エム・デジタル、IMAGICA GROUP 共同開発

東京大学大学院情報理工学系研究科 猿渡研究室と連携し、お天気キャスター 森田正光の声をAIで再現するリアルタイム音声合成システム『バーチャル森田さん』を共同開発

2019年7月-10月 主なグループTOPICS

2019/7
IMAGICA Lab.

「日メコン交流年2019」記念事業（映画分野での交流・協力事業）に総合協力企業として参加。日ミャンマー最初の合作映画（1935年）のデジタル復元も



2019/8/5
フォトロンM&Eソリューションズ

手術映像収録配信システム『Kada-OR』
循環器内科向け映像収録配信システム『Kada-Live』
新発売



2019/9/1
IMAGICA GROUP

当社グループの企業経営と企業統治に関する基本姿勢を示した「コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定



2019/9/11
フォトロン

国産2次元CADソフトウェアシリーズ最新版『図脳RAPIDPRO20』・『図脳RAPID20』新発売



2019 公開劇場映画 制作実績

『小さな恋のうた』 5/24～
『ウィーアー！リトルゾンビーズ』 6/14～
『MONGOL800 -message-』 7/5～
『ミュウツーの逆襲 EVOLUTION』 7/12～
『アルキメデスの大戦』 7/26～
『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』 8/2～
『二ノ国』 8/23～
『見えない目撃者』 9/20～
『任侠学園』 9/27～
『ひとよ』 11/8～

2019/10
ROBOT・P.I.C.S

地域カルチャーイベント「恵比寿文化祭 2019」の企画として恵比寿ガーデンプレイスでキッズ向けイベント開催



2019/10
IMAGICA Lab.

第32回東京国際映画祭に協賛



2019年4月-6月 主なグループTOPICS

2019/4/1 IMAGICA Lab.

グループ内ベンチャー制度第1号
デジタル映像会社
「IMAGICA IRIS」事業開始



2019/4/1
IMAGICA GROUP

米映像企業Pixelogic Holdings, LLC
の増資引受により株式取得



2019/4 フォトロン

自動車衝突安全試験用高速度カメラ『FASTCAM Mini CX100』を
新発売



2019/6 IMAGICA Lab.

3Dホログラム生成技術の国内マー
ケティングでリアライズ・モバイ
ル社と協業体制構築



2019/3/24 IMAGICA GROUP/ROBOT

世界初：12 Kワイド映像と照明を同期した未来型ライブビューイングを実施
最先端ライブスペクタクル
「VISIONS SUPER LIVE VIEWING supported by LDH」



2019/6 ROBOT

第72回 広告電通賞にて総合賞、最
高賞などを受賞
「おくる福島民報」スペシャル
ムービー



2019/6 IMAGICA Lab.

第23回 JPPA AWARDS 2019
(日本ポストプロダクション協
会)にて『日日是好日』が
経済産業大臣賞 受賞



お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742 F A X : 03-6741-5752

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。